

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第9号 2005年4月発行

今年のホタルの里は

会長 加藤賢三

今年も、ほたるの里に春が来て、17年度の里づくりが始まります。

昨年度は、ほたるの里でたくさんの出会いがありました。たとえば、小学校の生徒さんが学校行事の一環として、あるいは公民館主催の行事として、さらに、青年会議所が主催するアグリファミリーの親子体験などとして、多くの方がほたるの里を訪れました。そのなかで、里の成り立ちや、ホタルをはじめとした生き物についての学習会などが行われました。



萱田小の子どもたち

ほたるの里のいま、を伝える「ほたるの里だより」は今年で3年目に入っています。

内容が充実してきましたので、多くの方に八千代市のほたるの里を知っていただくために、学校、公民館、市民活動サポートセンター、駅などにもお届けしています。また、昨年は、ベイエフエム基金を受けて、千葉県のホテルマップを作成しました。このマップは、調査にご協力を頂いた、千葉県の市民団体や市町村に配布しましたが、知事、副知事さんにも手渡すことができました。一方、里の中では、昨年植えられた木々の中でも、たくさんの花をつけたハンノキがみごたえあります。秋にはかわいらしい小ぶりの実がつくことでしょう。今から楽しみのひとつです。

さらに、掲示板の活用も定着してきました。里の写真の紹介、里だよりの掲示に加え、ご意見ノートが用意されています。里に来られた方々の意見も、多様なものになってきました。里を見て

感じるものがさまざま、里のあり方を示唆するものがいくつもありました。「私達一人一人が、ホタルや里の生き物の気持ちになって、里づくりをしていくことが大切なのは」と感じています。

また、自然観察会として、千葉県中央博物館の倉西良一氏をお招きして、里の生き物調査を実施した後に、千葉県のカメボタルの話をうかがいました。今年も同様な、自然観察会を予定しています。昨年、湿地にミニ田んぼをつくりました。何ととっても、ヘイケボタルには田んぼが、似合っています。今年も、作付面積を増やしていきましょう。

さて、今年、ほたるの里ではどのような、生き物との出会いがあるのでしょうか。もしかすると、5月下旬にはゲンジボタルが、6月中旬から7月下旬までの間にヘイケボタルが見られるかもしれません。7月3日はヘイケボタルのナイトウォッチングを予定しています。何ととっても今年が目玉は、ほたるの里や新川の生き物や風景に関する写真展を開くことです。特に今年、足しげく、里に通っていただいて、沢山の出会いを写真におさめ、その感動を共有しましょう。さらに、今年こそ、近くの田んぼで、遊べる機会があると思っています。

今年度の行事予定は、このだよりの最後についていますのでご確認ください。とにかく里に来て



トンボ見つけたよ！

どんなことでも感動して、その感動と夢を多くの人に伝えることができれば、里は幸せなのです。

ちばほたるマップ2004完成

ちばほたるマップ編集委員 矢田 恒晴

平成14年10月に八千代市ほたるの里づくり実行委員会が中心となり、千葉県初のホタルサミットが開催されました。その時「ホタルをはじめとした、多くの生き物は地域固有の進化を遂げており、地域特性をもっている」ことが話題となったことから、今回、千葉県の各地域のホタルの生息状況や保護活動をしている団体を調べることで、各地域のホタルの保全につながることを期待してほたるマップを作成しました。

作成にあたっては、「ベイ FM Love Our Bay 基金」のご協力により、A2判2000部を印刷しました。早速ホタルの保護活動をしている団体、ホタルの生息状況を提供いただいた市町村、八千代市内の公民館や小中学校、市内および県の図書館などに提供し活用されています。また、県内各地で開かれた環境関係のシンポジウムなどの

際にも、「ほたるの里づくり」の活動内容の紹介として展示しました。堂本知事からは「素晴らしい出来栄で、今後さらに調査を続け充実させてほしい。」とのメッセージをいただいています。

マップを見ると、県の北東部や南部の自然環境の豊かな地域だけでなく、都市化の進んだ県西部にもまだまだホタルが保護活動により僅かながら生息していることがわかります。また昔からホタルが沢山生息していた市町村では、ホタルにあまり関心が持たれず、情報が提供いただけないこともありました。ホタルの保護活動をしている団体は28団体が確認されました。

今後、皆さんからの情報提供をいただき、更に内容を充実させていきたいと考えています。「ちばほたるマップ2004」が環境学習や総合学習に使用され、環境保全や自然環境の保護につながることを希望しています。

アカガエルの産卵

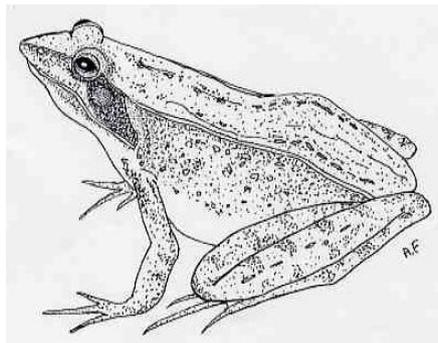
千葉県立芝山船橋高等学校教諭 福士 融

「ニホンアカガエルがいました！」

網でつかまえたカエルを見せながら、中央博物館上席研究員の倉西良一さんがうれしそうに話してくれました。ほたるの里で行われた昨年10月23日のホタルメイト学習会でのことです。

ニホンアカガエルは、厳冬の1月上旬から2月上旬に産卵を始めます。雨が降って比較的暖かい夜などに冬眠からさめて水辺へ集まり、産卵が終わると林の中などに戻って再び休眠（春眠）を続けるといわれてい

ます。よろよると長いひも状のヒキガエルの卵塊と違って、アカガエルの卵塊は丸いかたまり状です。ヒキガエルは水があれば雨上がりの水たまりなどにも産んでしましますが、アカガエルはあやしげな所には産みません。ある一定の深さがあり（深すぎてもだめ）、開けた止水域（水のある田んぼなど）に好んで産卵します。↑



ニホンアカガエル

1つの卵塊の中の卵の数は一般に500~3000個とされていますが、平均1000個としても、1カ所に10個の卵塊が確認できたとすると、

1万個の卵が産み出されたこととなります。すべてがうまく育たないにしても、すごい数の子ガエルが上陸するでしょう。（単純計算では、1万個のうち20個の卵しか親になれない？）

ニホンアカガエルは本州、四国、九州の平野から低山の草地、森林、田んぼなどに生

息していますが、近年その数を極端に減らしています。産卵場所の水辺が減っているのが第一の原因ですが、田んぼが残っていても、乾田化で栽培時以外は水がありません。また、成体が主に生活する林も激減しており、千葉県のレッドデータブックでは、最重要生物にランクされています。ほたるの里のアカガエルは貴重な存在です。

里のみどころ (4~6月のころ)

水がぬるみ生き物たちが動き始めます。
草木は芽吹き、里の周りの田んぼにも水が入りました。
里では、キジムシロの黄色の花、ノイバラの白い花など次々と花が咲き、そこにはハチなど昆虫も集まってきます。
水の中では、お腹に卵をつけたメダカや小さな赤ちゃんメダカが泳ぎ、ニホンアカガエルのおたまじゃくしには、足が出てきます。
ゲンジボタルは4月ころに上陸し、5月末ごろには飛び始めます。
ヘイケボタルもそろそろ上陸が始まり、6月ころから飛び始めます。
今年は何のホタルが光を放ちながら飛んでくれるのでしょうか・・・

(くわはた)

キジムシロ

カキツバタ

ノイバラ

(もり)

ホタルのマメ知識

ほたるの里では、去年はゲンジボタルの飛翔は残念ながら見るできませんでした。
ヘイケボタルは6月末に優しい光を見せてくれました。
ホタルは昔から最も人々に親しまれてきた身近な里の生き物でした。
ホタルの光は人に安らぎを与えてくれます。ホタルが生息する環境は多様で安定し、様々な生き物が生息する環境でもあり、人間が生活する上でもうるおいのある場でもあります。このような環境は私たちの感性を育み、文化の基礎となってきたのではないのでしょうか。
ほたるの里を通して、私たち大人も子供も環境について学ぶ場として活動していけたらと思います。
ご協力ご参加をお待ちしております。

ホタルQ&A

Q：ホタルは減っているのですか？

A：ホタルが減った話はよく聞きますが、増えたという話もあります。
ホタルが生活していくためには、親、卵、幼虫、サナギのそれぞれの時代の環境がそろっていなければいけません。親にはとび回る暗い空間、休んだり交尾したりする草や木、卵には川岸のコケ、幼虫にはえさと石ころなどの隠れ場の多い水底、サナギにはめぐりこみやすい軟らかい土手が必要です。これらの条件の一つでも欠けるとすみにくくなります。農薬や合成洗剤も大敵です。でもあまりにきれいすぎる水も苦手なようです。
「水清ければ魚すまず」といいますから。

今年度のスケジュール

総

会

4 / 9 (土)	10:00~12:00
-----------	-------------

ナイトウォッチング

7 / 3 (土)	19:00~20:30
-----------	-------------

見学会

11 / 19 (土)	8:30~17:00
-------------	------------

学習会

秋 頃	
-----	--

写真展

秋 頃	
-----	--

環境整備

5 / 14 (土)	10:00~12:00
6 / 25 (土)	10:00~12:00
7 / 30 (土)	9:00~11:00
8 / 27 (土)	9:00~11:00
9 / 24 (土)	10:00~12:00
10 / 22 (土)	10:00~12:00
11 / 26 (土)	10:00~12:00
3 / 4 (土)	10:00~12:00

里の環境整備

ほたるの里でザリガニ釣りや草刈を行います。

集合場所：ほたるの里

注意：各自、鎌や軍手の用意をお願いします。

ほたるの里への行き方



交通 東洋バス 勝田台駅発米本団地行に乗車
米本団地入口で下車
新八千代病院わきを下ると、ほたるの里です

- ① 池や小川の中に入らないこと
- ② 草や虫をいじめないこと
- ③ ゴミをすてないこと
- ④ コイ、ブラックバスなどをいれないこと



写真好き集まれ！！

ほたるの里で写真展を行います。ほたるの里や新川の四季、自然、おもしろい写真などなど、ほたるの里や新川にまつわる写真を募集しております。上位入賞者への景品も予定しています。

写真展にぜひ出品してみませんか？

○応募締切日時：平成17年9月30日

○テーマ：新川およびほたるの里

⑤日時・場所など詳しいことは決まり次第、ほたるの里だよりでお知らせ致します。

[ほたるの里の連絡先]

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoushou2@city.yachiyo.chiba.jp

[編集]

広報部会 事務局